

ヘルスケア企業のIT産業への参入とビジネスチャンス/ 事業開発のポイント

- ◆日時：2021年06月21日(月)13:00～16:00
- ◆会場：【WEB限定セミナー】※在宅、会社いながらセミナーを受けられます。
- ◆聴講料：1名につき49,500円(税込、補助資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【第1部】製薬企業による医療機器・デジタルヘルスへの参入と意思決定

講師:(株)野村総合研究所 コンサルティング事業本部 グローバル製造業コンサルティング部
Medtech&Life scienceグループ 高田 篤史 氏

【趣旨】

製薬企業の新規事業は、これまで既存のバリューチェーンを活かしたジェネリック医薬品やOTC医薬品など、あくまで「薬」の範囲内に収まってきた。しかし近年は、その枠を超え、医療機器・デジタルヘルスへの参入が目立つようになってきた。
 本セミナーでは、このような背景を受け、製薬企業が医療機器・デジタルヘルスに参入する背景やその意義について、業界の動向を鑑みながら考察する。
 加えて、演者の製薬企業への新規事業の支援経験から、製薬企業の新規事業が上手く進む企業と、上手く進まない企業の社内体制の違いについて紹介する。
 最後に、近年デジタルヘルスの分野で展開されている新しいビジネスモデルの類型を概説し、そのビジネスチャンスと周辺動向について紹介する。

【プログラム】

- はじめに
- 製薬企業が医療機器・デジタルヘルスに取り組む意味
 - 製薬企業を取り巻く経営環境
 - 参入による期待される効果
- 医療機器・デジタルヘルスの事業開発が頓挫する企業と上手く進む企業の違い
 - 事業開発が頓挫する企業の特徴
 - 事業開発がうまく進む企業の特徴
- 医療機器・デジタルヘルスの事業開発のポイント
 - 予防・医療領域の新しい事業機会
 - 予防領域の新しいビジネスモデル
 - 診断・治療領域における新しいビジネスモデル
- 医療機器・デジタルヘルスを推進する上で今後注視すべき動向
 - 海外における医療情報の活用がしやすい国の要件
 - 日本の今後の動向
- 終わりに

【質疑応答】

【第2部】医療機器メーカーに迫るパラダイムシフトと新たな機会

講師:(株)野村総合研究所 コンサルティング事業本部 グローバル製造業コンサルティング部
Medtech&Life scienceグループ 松本 拓也 氏

【趣旨】

医療業界は製薬業界で先行しているバリューベース・ヘルスケアの概念を大きなトレンドとしてパラダイムシフトの必要性に迫られている。医療を取り巻く各ステークホルダーはこの概念の実現に向けて、従来のビジネスのあり方を変容させていかなければならなくなってきている。
 また一方で、通信技術やAI等の先端技術の医療への導入が進みつつあり、医療のデジタル化という大きなトレンドが医療業界、医療機器メーカーに及ぼすインパクトも大きい。当然ながら、大きな変化の中には新たな事業機会が見いだせるものの、トレンドの表層のみを追った事業開発や研究開発は、機会獲得、投下資本の面からも望ましいものではない。担当者はこの変化の全体像を捉えた上で担当業務を進めていく事が求められる。
 本セミナーでは、医療機器業界におけるトレンド変化の全体像を整理した上で、新たに生まれてくる事業機会と医療機器メーカーが検討すべき点について概説する。

【プログラム】

- はじめに
- バリューベース・ヘルスケア興隆の背景
 - マクロ環境変化による医療費増大メカニズムの変化
 - 医療費適正化の方法変化の必要性
- ステークホルダーの行動変容
 - これまでのステークホルダー(5P)の行動
 - バリューベース・ヘルスケアで変わるステークホルダーの行動
 - ステークホルダーの構造的変化
- 医療機器メーカーに迫るパラダイムシフト
 - 医療機器メーカーの変化の必要性
 - 医療機器メーカーに必要な検討
- 新たな事業機会
 - 先端技術・既存技術をソリューションとしてまとめ上げる役割
 - 患者を含めたステークホルダー・マネジメントの役割
 - 自動運転化に見る医療機器メーカーの新たな役割
- 終わりに

【質疑応答】

『ヘルスケアビジネス【WEB限定】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。
 セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>